



東日暮里幼稚園だより

荒川区立東日暮里幼稚園
／ 荒川区立第三日暮里小学校併設園

発行日 令和4年1月11日

発行者 園長 末永 寿宣

1月号

「10の姿」⑩ 豊かな感性と表現

～表現する喜びを味わい、意欲をもつことを願って～

園長 末永 寿宣

子ども自身が思い思いに表現する楽しさを大切にしていくことが、豊かな感性や表現する力を養う上で重要となります。また、子どもが心の中で感じたことを自由な発想で表現するうちに、表現方法や素材を工夫することの面白さに気づき、表現の幅を膨らませられるようになります。

本園では、多様な表現技法や道具などを経験できるように環境を整えるとともに、協同して作りあげる活動を取り入れたり、それぞれの表現のよさを伝え広めていったりといった援助に力を入れています。それでは、その実践の一端を12月の活動の中からご紹介いたします。

3歳 もも組



▲たくさんの落ち葉を集めて、作ったお芋を入れて焼き芋ごっこをしました。

▲トイレットペーパーの芯をおじいさんの髭に見立てて、おじいさん役になりきっています。腰を曲げて杖をつく真似をするなど、表現に工夫をしていました。

▲大きなカブごっこで使う動物のお面をつけて、ネコとネズミのチーズ屋さんや魚釣りなど、遊びに長く集中しています。



○子どもたちにたくさんのことを経験させてあげることによって、子どもの発想力はどんどん豊かになっていきます。目で見て、肌で感じて、五感を使って感じる経験をさせています。

4歳 たんぽぽ組



▲もちつきを再現して遊んだり、鏡餅を触ったりしました。もちつき会を経験したことで、もちをつく人、もちを返す人に分かれてペアになり、友だちと気持ちを合わせて、もちつきごっこをして遊びました。

▲学級で飼育しているかカブトムシの幼虫のお世話をしました。土からフンを取ったり、新しい土と取り換えたりします。

「新しいお家だよ」「幼虫さんうれしそうだね」と子どもどうして話しています。以前より大きく成長した幼虫に驚きながら、成長の過程に関心を寄せています。

▲保育室のままごとコーナーの環境を整え、自分たちの遊びに取り入れる姿が、多くみられました。写真は、お客さんとコックさんに分かれて、レストランを開いている様子です。友だちとのやりとりを楽しみながら、過ごしています。

5歳 すみれ組

▲もちつき会では、こねたり、ついたりして、もち米が変化していく様子を間近で体験しました。また、前日には、エプロン・三角巾・きれいなマスクを身に付けて、米とぎの体験もしました。

▲積み木をかまどに見立て、もち米を蒸し、杵を拭いたり、もち米を入れてこねたり、もちつき会の経験をいかして、振り返りを行いました。

▲ご家族の方に見守っていただく中、表現参観を行いました。様々な表現の一つとして、保育に取り入れている歌・手話・楽器遊び・劇遊びを披露しました。

10の姿における「豊かな感性と表現」を育むために、本園では、今後も、子ども自身が思い思いに表現する楽しさを大切にしていける教育活動を推進してまいります。

令和4年（2022年）、新たなコロナ禍を皆で乗り越えて、明るく笑顔に満ちた年にしていきたいと思います。

本年も本園の教育活動へ、変わらぬご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

